

特徴

施工初期の浸食を防止し、長期的な自然営力を活かす法面保護工を提案します。

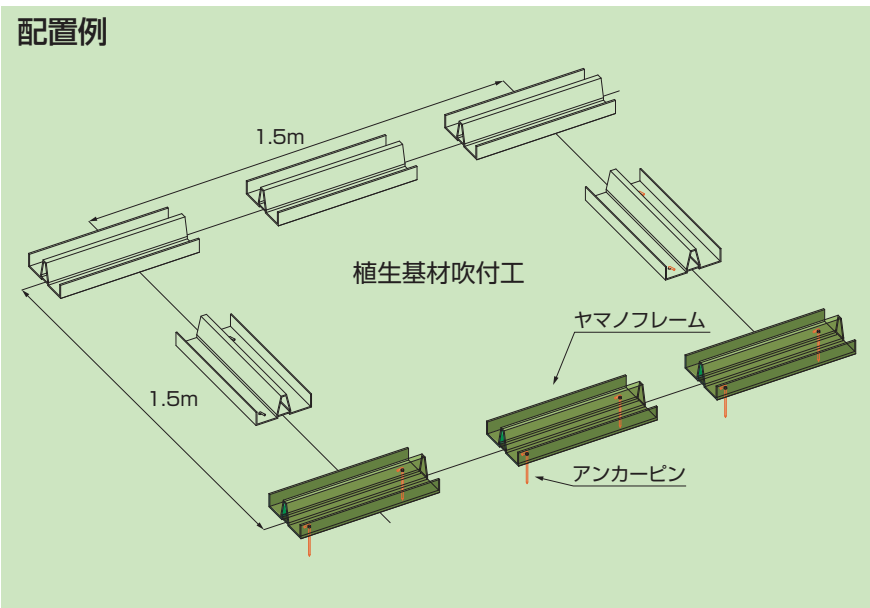
- ①材料の全てが2次製品 → 養生待ち無し、工程短縮可能
- ②リサイクル素材を使用 → 廃棄物が殆どでない
- ③植物生育を阻害しない ⇒ 生分解素材 → 全面緑化が可能で景観性に優れる
目的に応じた様々な設計(組合せ)が可能

工法の概要

吹付植生基盤用基礎工:生分解性プラスチック製

- 植生基材吹付工の基礎工です。
- 施工後約10年以降に植物生長を阻害しないよう生分解します。
- 緑化目標に合わせて、長さの設定自由です(標準50cm)。
- ヤマノフレームのみの構成から、ロックボルト受圧板などの組み合わせが可能です。

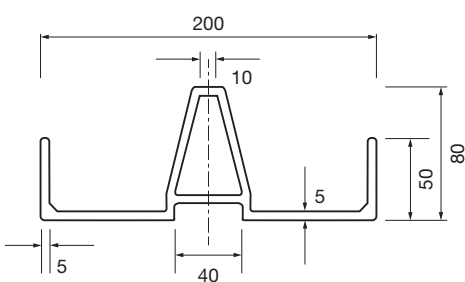
配置例



取付状況



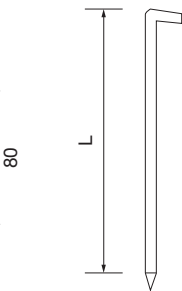
植生基盤吹付完了



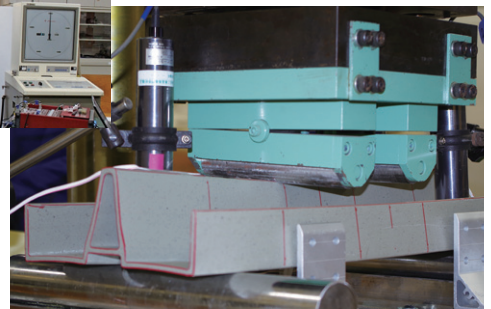
H=80, W=200, L=500※

※任意の長さに切断加工可能

※重量：約 1kg/個



アンカーピン L=400



上載荷重約 7kN(700kg)に耐える

ヤマノフレーム

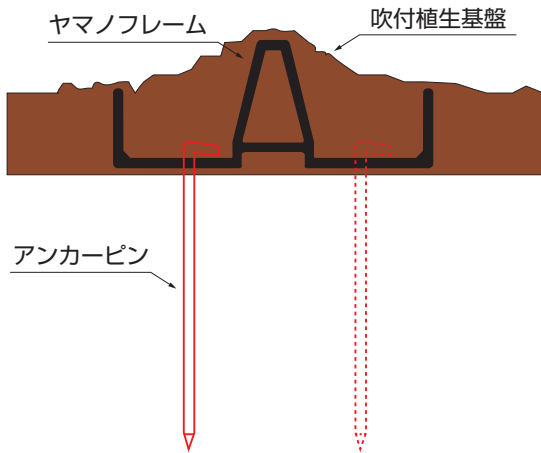
植生基盤材を確実に支え、植物群落の成長を阻害しない生分解性を持つ軽量基礎工です。

従来のコンクリート法枠では、法枠に接する範囲の植物が生育しにくく、長期的には植生群落が衰退してしまう事例が見られます。

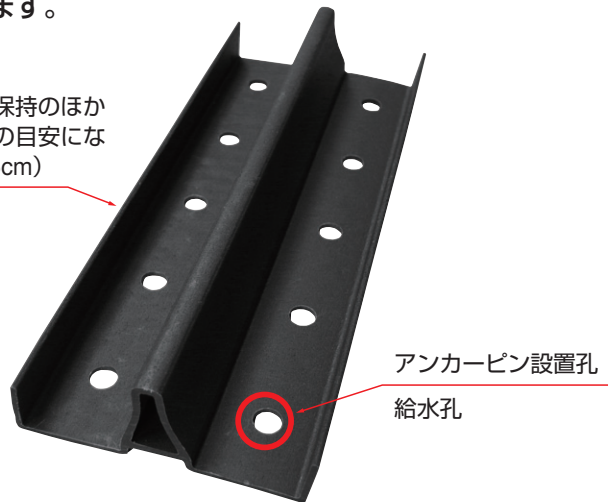
⇒原因:植生領域の分断、乾燥



- 堅固なヤマノフレームを植生基盤内に埋め込み植生基盤を支えます。
- 植生基盤が枠で分断される範囲が非常に小さいので植物群落への影響が少なくなります。
- 表層浸食防止の主役となる植物生長を阻害しないよう施工約10年後から、ヤマノフレームは徐々に生分解します。
- ヤマノフレームのアンカーピン設置孔は地山からの給水孔としての役割も果たします。
- 全面緑化が可能となるので植物による法面保護効果に優れます。



側壁は基盤保持のほか吹付厚管理の目安になります (H=5cm)



クロノパネル

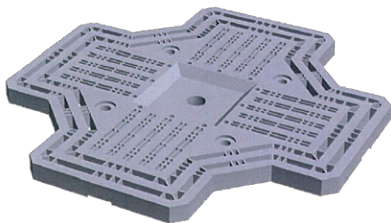
NETIS 登録番号: KT-140092-A

リサイクルプラスチック素材のロックボルト受圧板。ヤマノフレームと組合せて抑止力導入が図れます。

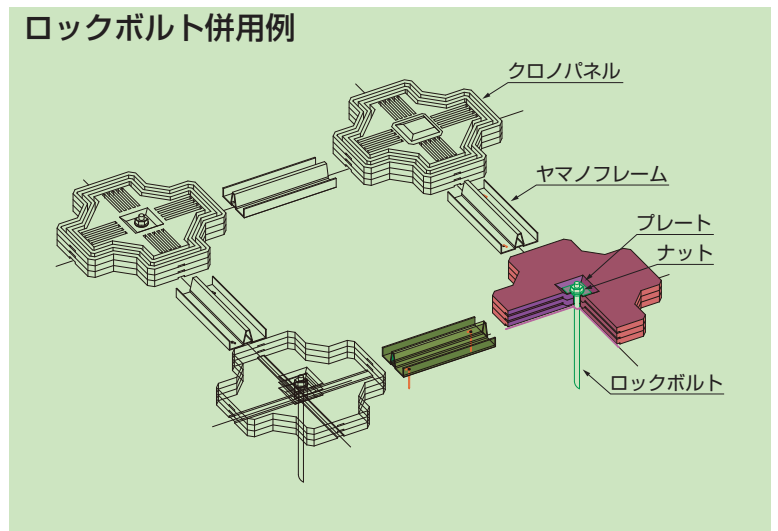
型 式	適合引張力 (重量)	摘 要
KP20	20kN (6.7kg)	KP-750A 1枚
KP50	50kN (13.7kg)	KP-750A 1枚 KP-750B 1枚
KP80	80kN (20.7kg)	KP-750A 2枚 KP-750B 1枚

※受圧面積: 0.4m²

- 分割組み立て式の軽量受圧板



ロックボルト併用例



※本書の内容や材料の規格寸法等は予告無く変更する場合があります。

お問い合わせ先

 日本基礎技術株式会社 JAPAN FOUNDATION ENGINEERING CO.,LTD.
技術本部 技術部

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷1丁目1番12号
TEL.03-5365-2500 (代表) FAX.03-5365-2522
URL: <http://www.jafec.co.jp>
E-Mail: gijutsu@jafec.co.jp